

【仙台防災未来フォーラム2016】地区防災計画フォーラム 2016.3.12

27年度度内閣府地区防災計画モデル事業 あわら市吉崎・加賀市吉崎町合同防災訓練

平成27年10月25日 日本海沖地震発生
「大津波警報発令 至急小学校へ避難」

命はひとつ

吉崎防災会



内 容

1 吉崎地区の概要

人口、面積、高齢化率 等

自然徳性

社会徳性

災害履歴

2 吉崎地区の位置、状況

県、市町村の中での位置関係

地区の状況写真

3 これまでの取組概要

計画を作成するために取り組んだ内容

取り組む中で発生した問題点・課題

課題に対して地区で取り組んだ内容 等

取り組み状況を表す写真 等

吉崎地区の概要

- 人口・面積等

人口	面積	世帯数	高齢化率	
231人	75.7ha	97世帯	42%	28.2.1現在

- 自然特性

加越丘陵地区において海岸線・河口部に位置する小規模平野
周囲は標高約30m、しかし吉崎地区は低高度地帯

東：丘陵地帯(山)、西：日本海、北：大聖寺川(2級河川)、南：北潟湖、

- 社会特性

室町時代に吉崎御坊、宗教中心都市として形成、発展

近代まで北前航路の拠点としても発展

近代以降の鉄道、陸路中心の主流流通経路から離れている

高齢化、過疎化

産業：伝統的門前町、観光中心

県境に位置、行政：福井県あわら市、経済：石川県加賀市

- 災害履歴

S23.6.28：福井大震災による大規模な被害(福井県側：被害大、石川県側：被害小)

県境またぐ町「吉崎」



地区の中に県境が通る
あわら市・加賀市の中心部から
は離れている

モデル地区の防災活動状況

あわら市では地域防災力向上は始まったばかり

- 平成23年度 自主防災組織設立(6個自治会の連携)
- 平成24年度 自主防災訓練(自主避難訓練、安否確認訓練、避難誘導訓練、対策本部設置訓練、自主避難所開設訓練、消化訓練(消火栓)、救護訓練(AED))
- 平成25年度 あわら市総合防災訓練(吉崎・浜坂地区)に参加

※あわら市において最も津波想定による被害予測、日頃から津波及びそれを起因させる地震に関心が高い

地区防災訓練を共同で実施しよう

- 今まで、石川県吉崎地区とは行政の違い等もあり共同での地震・津波対処訓練を行っていなかった。石川県吉崎地区は避難訓練をしているが、福井県吉崎地区は地域清掃中。何してる？何で吉崎小学校へ行くのだろうか
- 昨年、石川県吉崎地区の自主防災組織（三木地区自主防災会）からの働きかけで、自主防災研修に参加
- 分かったこと①日本海沖地震の津波想定が違う②石川県吉崎地区の避難場所は福井県吉崎小学校③逃げるところから避難の始まり
- 自主防災訓練の必要性を感じる
- 石川県側自主防災組織との勉強会、福井震災経験者から当時の倒壊・危険を防災マップに載せ、災害予想ハザードマップの作成を共同して実施
- 今年度：県境を跨いで共同で地震津波防災訓練を初めて実施

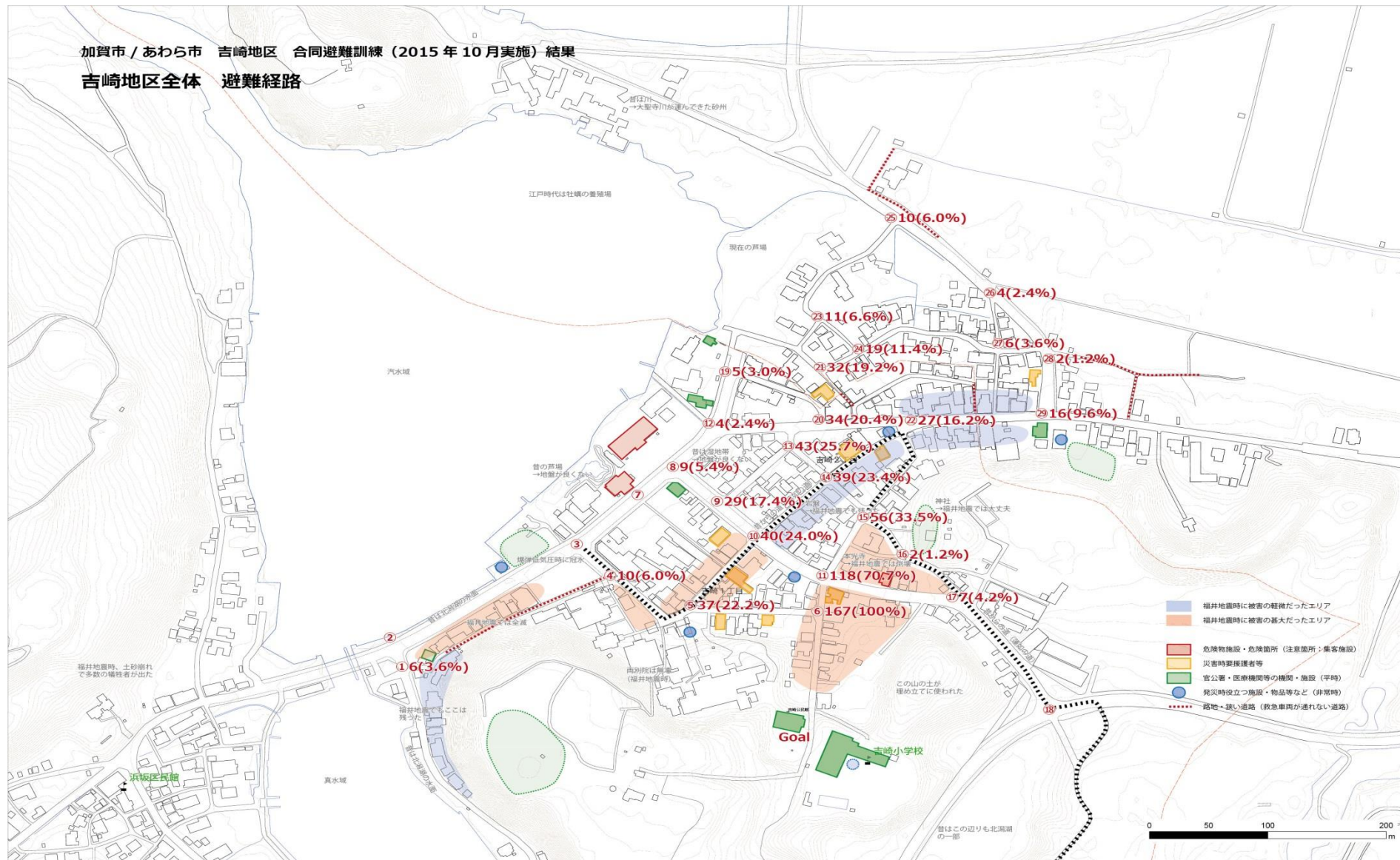
地域防災訓練の実施

- 訓練の想定は「日本海沖地震発生 7mの津波押し寄せる 12分到着
- 合同実行委員会設置「日本海沖地震による津波避難訓練実施計画書作成
- 実施日：平成27年10月25日（日） 午前9時
- 通知：防災無線スピーカー・消防車両による地域内（サイレン）鳴らして回る
- 今回の目的①12分で避難場所に逃げれるか②避難経路の聞き取り③避難者への意識付け
- 12分時間内・時間外の区別シールを貼る
- 町内別に聞き取り所を設置←区の役員が避難者から聞き取り調査
⇒聞き取り調査から分析「避難経路・時間内外の理由・非参加者の確認

訓練模様



避難経路



地域防災訓練の総括

- ・ 防災無線スピーカーからの声が聞こえない
⇒大きな地震を感じたら、まず逃げる(命はひとつ)意識の醸成⇔携帯に情報入る
- ・ 海の地震・内陸の地震で逃げ方が異なるか
⇒まず逃げる(命はひとつ)⇒避難場所での判断⇒救助・情報可能か
- ・ 福井震災で倒壊した場所を逃げて来ている⇒逃げ道迷っていたらアウト
⇒早く避難して来れる人が、誘導(津波の場合、避難場所に近い所で)
- ・ 声をかけて逃げる⇒玄関先に出て来た弱者を、逃げる人で協力して搬送
- ・ 家族で話し合い(皆が逃げ道を確認・非常持ち出しの確認・子供の誘導方法)

毎年地域防災訓練実施⇒実施目的と課題を明確にして取り組む

- ①防災意識を持たせる⇒訓練時非常持ち出し袋持参＝各家庭非常持ち出し整える
- ②避難場所の運営
- ③防災組織の見直し⇒最重要班＝救助・情報⇒救急⇔災害時の緊急班の充実

今年度も「吉崎は一つ」で課題克服に挑戦

5月実行委員会設置 ⇒ 11月の加賀市防災訓練時、地域防災訓練実施

課題⇒行政

- 避難場所→吉崎小学校→3月31日休校→廃校
- 避難場所＝吉崎小学校

両市(あわら市・加賀市)により避難場所の維持をお願いしたい

施設維持

- 防災教育センターの設置
 - ☆子供達に防災意識向上研修や実践
 - ☆防災推進リーダーの養成
 - ☆地域防災担当者の養成
 - ☆防災器具の研修
 - ☆防災訓練研修→地域